

甲状腺濾胞癌特異的 RAS 依存性シグナル伝達系の解析

研究協力をお願い

当科では「甲状腺濾胞癌特異的 RAS 依存性シグナル伝達系の解析」という研究を中央倫理委員会の承認及び研究機関の長（院長：汲田伸一郎）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問等は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2018年6月1日から2024年12月26日までに、日本医科大学付属病院で甲状腺濾胞癌又は濾胞腺腫の手術を受けられ、病理診断のための組織標本を教育・研究に使用することについて同意されている患者さん。

2. 研究の目的

この研究の目的は甲状腺濾胞癌の特異的マーカーFAM19A2の発現上昇を指標として、甲状腺濾胞癌においてRAS-Q61変異により特異的に活性化されるシグナル伝達経路を解明することです。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学付属病院を研究代表機関とする多機関共同研究で、研究代表者及び研究事務局は日本医科大学付属病院 内分泌外科 軸菌智雄です。他の参加研究機関は大阪公立大学（研究責任者：石橋宰）です。

濾胞癌の凍結組織を用いて、シングルセル RNA シーケンス解析を行います。この解析は、1細胞ごとに転写産物である RNA の種類と量を網羅的に検出することが出来るのが特徴で、細胞集団に含まれる細胞タイプ、割合、そして各細胞タイプに特徴的に発現する遺伝子を同定します。

研究実施期間は実施許可日から2028年3月31日までです。

本研究は、日本イーライリリーより研究費（日本イーライリリーイノベーション研究助成 2024）の提供等を受けておりますが、研究の透明性、公正性および信頼性を確保し研究を実施します。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：凍結組織及びホルマリン固定パラフィン標本

情報：病理診断、検査データ、診療記録

利用を開始する予定日：実施許可日

提供を開始する予定日：実施許可日

試料・情報の提供を行う機関：日本医科大学付属病院（院長：汲田伸一郎）

試料・情報の提供を受ける機関：大阪公立大学（学長：辰巳砂昌弘）

試料・情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する試料・情報は、容易に個人を特定できないように記号化した番号により管理され、あなた

の個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

試料は日本医科大学付属病院内分泌外科研究室に、情報は日本医科大学付属病院内分泌外科医局の鍵のかかるロッカーまたはインターネットに接続されていないパスワードのかかった PC にそれぞれ保管します。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。また、研究結果の報告、発表に関しては個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

また、試料・情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学付属病院 内分泌外科 軸菌 智雄

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：24341

メールアドレス：t-jikuzono@nms.ac.jp